

⑧気持ちをわかって働きかける(中学校)

『相手に共感して働きかける』

1. 展開案

過程	学習活動	教師の働きかけ	留意すること
わかる	1. 本時のめあてを知る。	<p>○私たちは、その場で相手の立場や考えを感じ取りながら、生活をしています。例えば、友達が泣いていたとすると、自分でも悲しい気持ちになったりしますね。逆に、笑っている友達を見れば、楽しくなってきますね。これを共感すると言います。でも、相手にどのように接したらいいのかわからず困ったことはありませんか。または、どう見ても困っている友達に、声をかけられれば相手も助かるだろうなと思いながら、なかなか行動に移せないことがありますか。</p> <p>○今日は、いくつかの場面を体験して、どのように相手の気持ちに共感し、どのような働きかけをしたらよいか、練習をしたいと思います。</p>	<p>・「気持ちをわかって働きかける」のスキルを身に付けることで、人間関係づくりが一層うまくいくようになることに気付かせる。</p>
相手に共感して働きかける練習をしよう			
	<p>2. 表情カードを見て、共感のポイントを知る。</p> <p>【表情カード】 A：うれしい表情 B：怒っている表情 C：不安な表情 D：悲しい表情</p>	<p>○授業を進める上での約束を確認します。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・恥ずかしがらない ・冷やかさない ・よいところを見つける </div> <p>○まず、相手の気持ちを感じ取るにはどうしたらよいかを考えてみたいと思います。</p> <p>○(このような場面でこのような表情をしていたら、)どのような気持ちだと思いますか。(表情カードごとに繰り返す)</p> <p>○4つの表情で相手の気持ちを読み取る練習をしましたが、どのようにして絵の人物の気持ちを判断しましたか。発表してみましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【共感のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の表情と状況を読み取る ・相手の気持ちを想像する。 </div>	<p>・約束が必要な理由を添えて説明する。</p> <p>・表情カードを提示する。それぞれ場面を説明し、どんな気持ちかを考えさせる。場面は自由に設定してよい。</p> <p>※表情カード例参照</p> <p>・4つのポイントは2回に分けて2つずつ提示する。</p>
	<p>3. モデリングを見て、働きかけのポイントを知る。</p> <p>【モデリング】 I 不安をあおる II 無関心 III ポイントを意識して</p>	<p>○これから先生が3つの働きかけを実際にやってみます。それぞれの場面の働きかけを見て、働きかけるためのポイントを考えながら見てください。</p> <p>○どの働きかけがよかったですか。</p> <p>○3つ目の働きかけをもう一度やってみます。どのようなところがよいか、考えながら見て下さい。「働きかける役」に注目しましょう。</p>	<p>・モデリングは、ポイントが分かりやすくなるように演じる。</p> <p>※モデリングシナリオ参照</p>

		<p>○どのようなところがよかったですか。</p> <p>○働きかけのポイントをまとめましょう。相手の気持ちを大切にされた言葉を伝えます。そして、その時には、相手の気持ちを大切にされた表情をします。</p> <p>【働きかけのポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを大切にされた言葉を伝える ・相手の気持ちを大切にされた表情をする <p>○相手の気持ちを大切にされた表情をするには、相手と同じ表情をすとうまくいきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提示するポイント以外で、生徒から気づきが出たら、それらも必要であることを伝える。 ・イメージがつかみにくいポイントは分かりやすく例示して伝えるとよい。
や っ て み る	4. 働きかけのポイントに気を付けながら練習①をする。	<p>○働きかけの練習をします。まず、練習①は『痛かったですようゲーム』を通して、働きかけのポイントの大切さを体験してみます。</p> <p>『痛かったですようゲーム』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2人1組になる。 ・右手で握手をして、左手でジャンケンをする。 ・勝った人は、左手で握手している相手の右手を叩く。 ・叩かれる相手のことを少し気にして、力任せのたたき合いにならないように声をかける。 ・1回目は、30秒間取り組む。 ・2回目は、勝った人は叩いた後、「痛かったですよう。」と言って、申し訳ないという表情で相手の手の甲をさする。30秒間取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく取り組ませ、ゲームの中で感じた気持ちを交流することで、練習への動機付けを図る。 ・学級の状態によって、隣同士、性別ごとなど配慮が必要な場合がある。 ・『痛かったですようゲーム』の2回目は練習①になることを伝えて、ポイントを意識して行わせる。
	5. 全体で話し合い、練習①を振り返る。	<p>○負けて手の甲を叩かれたとき、1回目と2回目、それぞれどのような気持ちでしたか、聞いてみます。体験してどのような気持ちになりましたか。</p> <p>○ふり返りシートに自己評価をしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを使って働きかけてもらうとどのような気持ちになるかを押さえる。 ・ポイントを使って働きかけることで相手との関係がスムーズになることに気付かせる。 ・ふり返りシートを配布し、記入させ、よかった点を振り返らせる。 <p>※ふり返りシート参照</p>
	6. 働きかけのポイントに気を付けながら、練習②をする。	<p>○4人組になって、ポイントに気を付けながら、働きかけの練習②をしましょう。</p> <p>○ワークシートを見て下さい。練習②の場面を説明します。</p> <p>○まず役割を分担します。始めに役割を決めますが、役割は交代してすべて体験します。</p> <p>○「働きかける役」「相手役」の人は席を立って練習します。「観察役」の2人は「働きかける役」の人を見て、共感して働きかけの4つのポイントができているかどうかを観察してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを示し、場面を説明する。 <p>※ワークシート参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りシートとワークシートは両面印刷をしておくとうよい。 ・「働きかける役」「相手役」「観察役(2人)」の役割を分担させる。 ・「役は時計回りでまわす。」

<p>7. グループで話し合い、練習②を振り返る。</p>	<p>い。ポイント以外にもよいところがあったら、覚えておいて下さい。</p> <p>○練習②を振り返りましょう。「観察役」の2人は働きかけの4つのポイントができていたか、どのようなところがよかったか、具体的に振り返ってください。4つのポイント以外でもよいところがあったら、伝えて下さい。</p> <p>○ふり返しシートに自己評価を記入しましょう。</p> <p>○3回目の練習で、特に気を付けたいポイントを決めます。ふり返しシートを見て記入してください。2回目の練習で全部できていた人は、新しく5つ目のポイントを作ってもいいです。</p>	<p>など、指示しておくスムーズに練習できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習でポイントを使って働きかけることができている生徒をその都度褒める。 「観察役」には働きかけの4つのポイント以外でもよいと思ったことを伝えさせる。 最後の練習では、生徒自身がどのポイントを意識して練習に取り組むかを明確にさせ、練習への動機付けを図る。
<p>8. 働きかけのポイントに気を付けながら、練習③をする。</p>	<p>○では、練習③を行います。ワークシートの練習③を見てください。3つの場面を準備しています。どの場면을練習するかは「働きかける役」の人が決めて下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全員が終わったら、他の場面に挑戦してもよいことを伝える。 練習でポイントを使って働きかけることができている生徒をその都度褒める。
<p>9. グループで話し合い、練習③を振り返る。</p>	<p>○練習③を振り返りましょう。「観察役」の2人は働きかけの4つのポイントができていたか、どんなところがよかったか、具体的に振り返ってください。ポイント以外でもよいところがあったら、伝えて下さい。</p> <p>○ワークシートに自己評価を記入しましょう。</p>	
<p>ふりかえる</p> <p>10. 学習のまとめをする。</p>	<p>○今日の活動を振り返ります。ふり返しシートに記入しましょう。</p> <p>○今日は、相手の気持ちに共感して働きかける練習をしました。皆さんの働きかけで、友達の輪が広がるといいですね。</p> <p>○これからしばらくチャレンジ週間を行います。普段の生活の中で、今日の学習が生かされたかどうか、確認をしながら自分の人間関係を築く力を向上させていきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート、ふり返しシートを回収する。 働きかけのスキルの意義を押さえ、定着化の取組(チャレンジ週間)に向けて、生徒の意欲を高める言葉かけをする。 チャレンジ週間の説明をする。 <p>※チャレンジシート参照</p>

表情カード例



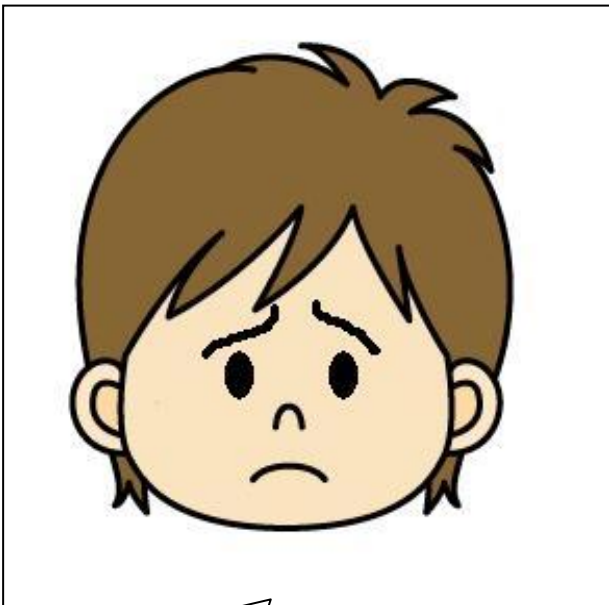
場面例

大好きなお菓子が、目の前にあります。
おいしそう！



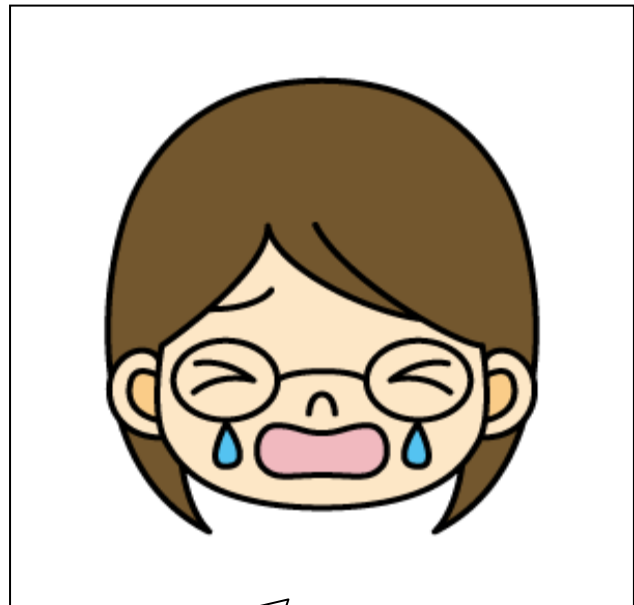
場面例

弟が、大事にしていた本を破っちゃった。



場面例

友達から借りた本が見つからない。



場面例

飼っている犬のクロが大けがをしちゃった。

モデリングシナリオ

*生徒A役は教師が行う。

場面設定

放課後、教室で机の中を見て部室の鍵を探している生徒B。かなり困っていて、焦っている様子が感じられる。そこに生徒Aが通りかかり、働きかける。

モデリングⅠ 不安を募らせるように働きかける。

生徒B：(困った様子で机の中を覗いている。)

生徒A：あれ?どうしたの?

生徒B：どうしよう、部室の鍵をなくしてしまったみたいなんだ。(力なくつぶやく)

生徒A：あ〜あ!先生に怒られるぞお。先輩も多分許してくれないぞ。どうするんだ?

この働きかけ、どうだった?

予想される反応：もっと困る、嫌だ、おもしろがられている気がするなど

モデリングⅡ 無関心な様子で働きかける。

生徒B：(困った様子で机の中を覗いている。)

生徒A：あれ?どうしたの?

生徒B：どうしよう、部室の鍵をなくしてしまったみたいなんだ。(力なくつぶやく)

生徒A：(無表情で)ふーん。(立ち去る)

この働きかけ、どうだった?

予想される反応：落ち込む、手伝ってくれないの?と思う、始めに「どうしたの?」って聞くなよと思うなど

モデリングⅢ ポイントを意識して働きかける。

生徒B：(困った様子で机の中を覗いている。)

生徒A：あれ?どうしたの?

生徒B：どうしよう、部室の鍵をなくしてしまったみたいなんだ。(力なくつぶやく)

生徒A：(心配した表情で)えー、困ったねえ。一緒に探すよ、どんな形の鍵?ないって、どのあたりで気が付いたの?今まで通ってきたところを戻ってみようか。

この働きかけ、どうだった?

予想される反応：よかった

どんなところがよかったかな?

予想される反応：心配した表情だった、一緒に探してくれた、生徒Bの気持ちがちょっと軽くなる言
い方だった、相手の気持ちを言葉にしていたなど

4. 活用場面のアレンジ例

「⑧気持ちをわかって働き掛ける」のスキルをどのような場面で用いるか、具体的な学校生活の場面をまとめました。ソーシャルスキル・トレーニングを授業で行う際、モデリングやロールプレイのシナリオをアレンジするときの参考にしてください。また、授業後に、スキルの定着化のための働きかけにご利用ください。

- ・友達とけんかして悲しそうな友達へ
- ・友達の中に入れてない友達へ
- ・友達と仲直りして嬉しそうな友たちへ
- ・授業でうまくいなくて落ち込んでいる友達へ
- ・授業で活躍をして嬉しそうな友達へ
- ・行事でうまくいなくて悲しそうな友達へ
- ・行事で活躍して嬉しそうな友達へ
- ・テストで失敗して悲しそうな友達へ
- ・テストでうまく行って嬉しそうな友達へ
- ・作業が遅れて困っている友達へ
- ・忘れ物をして困っている友達へ
- ・泣いている友達へ
- ・望みが叶って喜んでいる友達へ
- ・いつもと違ってなんとなく元気がないと思う友達へ
- ・いいことがあってにこにこしている友達へ
- ・体調の悪そうな友達へ
- ・心配事を抱えている友達へ
- ・もうすぐ試合や発表会があると言っている友達へ
- ・部活動でミスをして落ち込んでいる友達へ
- ・部活動でうまくできて嬉しそうな友達へ